



詳細設計照査要領(その8)

技術基準の種類:業務委託
通知日:平成10年4月1日

道路詳細設計調書(その1)

(/)

業務名		所在地		受注者名		施工箇所	起点側		
路線名		事務所名		照査・管理技術者名			終点側		
		事務所		作成年月日	平成 年 月 日				
延長		新設(暫定・完成) 拡幅の区分		防音壁の設置の有無			付帯施設の 有無		
設計条件	道路規格	第 種 第 級	設計速度	km/h	道 路 分 類				
	計画交通量(大型車混入率)	年度	地域分類		積雪寒冷地の区分				
	横断面の構成	土 工 部			橋 梁 部				
幾何構造	最小曲線半径		最小曲線長		最小視距		最小緩和曲線長		
	最急縦断勾配		同左延長		最小縦断曲線長		最小縦断曲線半径		
	横断勾配		片勾配の最大値		最大合成勾配		片勾配のすり付率		
土工	主たる地質	盛土部	切土部	のり勾配	盛土	切	土		
						土砂	軟岩	硬岩	
	のり面工の種類	盛土	切土	小段の幅員	盛土	切土	小段の高さ	盛土	切土
最大盛土高		最大切土高		軟弱地盤対策、地すべり対策 防雪施設の要否					

※下段は、基準値を記入すること。

道路詳細設計調書(その2)

(/)

舗装	舗装の種類		交通区分		設計CBR		主要数量	盛土量		切土量		のり面積	切土 盛土	
	舗装構成		路盤の種類	上層		排水工	舗装面積	車道 歩道	横断 函渠数	箇所	延長	土工	橋梁	トンネル
				下層			降雨強度		断面					
装	連断層 凍上抑制層 有無		自歩道の 舗装				流出係数	路面 隣地	決定 概要		備考欄			
主要流末概念図														
線形概要	測点													
	縦断線形	勾配												
		距離												
平面線形														

ボックスカルバート詳細設計調書（その1）（ / ）

1. 一般事項

業 務 名	
施 設 名	
路 線 名	
所 在 地	
距 離 標	自 km 至 km
事 務 所 名	
受 注 者 名	
照 査・管 理 技 術 者 名	
設 計 年 月 日	平成 年 月 日

2. 設計条件

基本構造	用 途 区 分	道路・水路・その他（ ）		
	構 造 形 式	一連ボックス・二連ボックス		
	製 品 区 分	工場製品・場所打ち		
	標 準 設 計	無・有	標準設計図No.	
	内 空 寸 法	一連（二連左）	（二連右）	
		幅	m	
		高さ	m	
	総 延 長	L = m	分割数	n =
	斜 角	左口 ° ' "	右口 ° ' "	
	縦 断 勾 配	i = %	すべり止め	有・無
基 礎 工	設計土被り	H _D = m	単 位 重 量	γ = ft/m ³
	水 位	H _W = m	内 部 土 砂	H _s = m
	形 式	直接・置換・杭*	杭種・杭径	
	土 質		N 値	N =
支持地盤	単 位 重 量	γ = ft/m ³	内部摩擦角	φ = °
	粘 着 力	C = ft/m ³	許容支持力	Q = tf
使用材料	コンクリート	設計基準強度σ _{ck} = kgf/cm ²		
	鉄 筋	SD295・SD345		

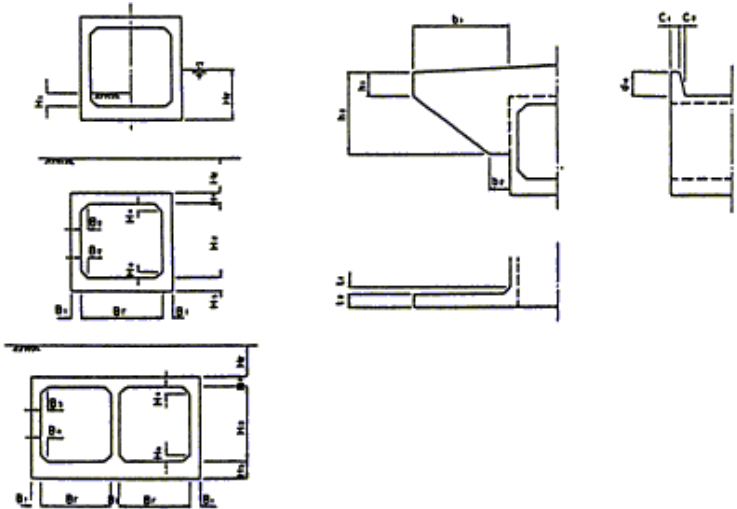
注：適用基準等欄の記載例
道示Ⅰ-1～2（適用基準短縮名－記載頁）で表示する。

注：*は杭基礎設計調書を参照のこと。

ボックスカルバート詳細設計調書（その2）

3. 形状寸法データ

本 体	H ₀	m	B ₀	m				
	H ₁	m	B ₁	m				
	H ₂	m	B ₂	m				
	H ₃	m	B ₃	m				
	H ₄	m	B ₄	m				
ウイング	左口左側		左口右側		右口左側		右口右側	
	b ₁	m	b ₁	m	b ₁	m	b ₁	m
	b ₂	m	b ₂	m	b ₂	m	b ₂	m
	h ₁	m	h ₁	m	h ₁	m	h ₁	m
	h ₂	m	h ₂	m	h ₂	m	h ₂	m
	t ₁	m	t ₁	m	t ₁	m	t ₁	m
	t ₂	m	t ₂	m	t ₂	m	t ₂	m
土 留 壁	左口左側		左口右側		右口左側		右口右側	
	c ₁	m	c ₁	m	c ₁	m	c ₁	m
	c ₂	m	c ₂	m	c ₂	m	c ₂	m
	d _H	m	d _H	m	d _H	m	d _H	m



ボックスカルバート詳細設計調書（その3）

4. 部材応力度

[illegible]

擁壁工詳細設計調書（その１）

１．一般事項

業 務 名	
施 設 名	
路 線 名	
所 在 地	
距 離 標	自 km 至 km
事 務 所 名	
受 注 者 名	
照 査 ・ 管 理 技 術 者 名	
設 計 年 月 日	平成 年 月 日

２．構造条件

擁 壁 形 式				適用基準等
設 置 区 分	背面盛土・背面切土・橋梁等取付・その他（ ）			
製 品 区 分	工場製品・場所打ち			
標 準 設 計	無・有	標準設計図No.		
基 礎 形 式	直接・置換・杭*	杭種・杭径		
盛 土 高 さ	$H_0 =$ m	法 面 勾 配	$N =$	
	上載分布荷重 $P =$	ft/m ²		
浮 力 考 慮 位 置	$H_v =$ m	突 起	無・有	
コンクリート強度	$\sigma_{sk} =$	kgf/cm ²		
鉄 筋 材 質	SD295・SD345			
設 計 水 平 震 度	地域別補正係数 $\iota_1 =$	地盤別補正係数 $\iota_2 =$		
	$K_h = \iota_1 \cdot \iota_2 \cdot 0.15 =$			
地 盤 種 別	土 質	層 厚	平均N値	
	第 1 層			
	第 2 層			
	第 3 層			
	第 4 層			
液 状 化 判 定	有・無			

注：＊は杭基礎設計調書を参照のこと。

擁壁工詳細設計調書（その２）

４．形状寸法データ

擁壁延長	TL= m		前面土砂高		HS= m		
防護柵作用荷重	PH= tf/m		作用位置		HP= m、BP= m		
断面 (大側)	HT	H1	H2	H3			
	m	m	m	m			
	BT	B1	B2	B3	B4	B5	B6
	m	m	m	m	m	m	m
断面 (小側)	HT	H1	H2	H3			
	m	m	m	m			
	BT	B1	B2	B3	B4	B5	B6
	m	m	m	m	m	m	m

５．安定計算結果

直 接 基 礎 安 定 計 算 結 果 総 括 表							
ケ	一	入	常 時		地 震 時		
浮		力	有	無	許容値	有	無 許容値
偏 心 量 (c) (m)					$B/6 =$		$B/3 =$
滑 動 安 全 率					1.5		1.2
最大地盤反力度 (tf/m ²)							
鉛直支持力 (Q) (tf/m)							

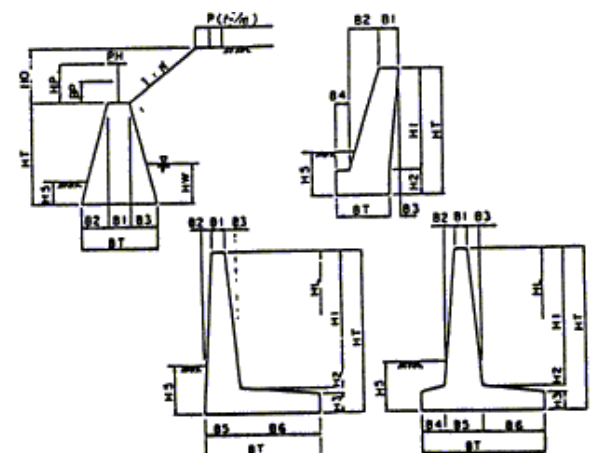
杭 基 礎 安 定 計 算 結 果 総 括 表							
ケ	一	入	常 時		地 震 時		
浮		力	有	無	許容値	有	無 許容値
杭頭	押込 (tf/本)						
反力	引抜 (tf/本)						
水 平 変 位 (mm)							

３．土砂データ

項 目	単 位	裏込土砂	支持地盤	一般土砂
単 位 重 量 (γ)	ft/m ³			
粘 着 力 (C)	ft/m ²			
せん断抵抗角 (ϕ)	度			
変 形 係 数 (E_0)	kgf/cm ²			
変形係数算出方法	—			
一軸圧縮強度 (q_u)	kgf/cm ²			

注：適用基準等欄の記載例

道示Ⅰ－１～２（適用基準短縮名－記載頁）
で表示する。



擁壁工詳細設計調書（その3）

6. 部材応力度

[illegible]

基礎工詳細設計調書（その1）（ / ）

1. 一般事項

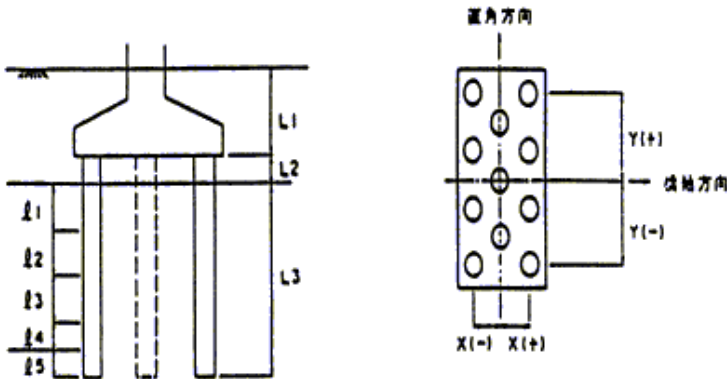
業 務 名		事 務 所 名	
施 設 名		受 注 者 名	
路 線・河 川 名		照 査・管 理 技 術 者 名	
所 在 地		作 成 年 月 日	平成 年 月 日
距 離 標	km	左 右 岸 の 別	

2. 基本事項

杭 群 へ の 作用力	M	N	H	施工偏心△M	適用基準等
	tf・m	tf	tf	tf・m	
基礎形態	基礎形式	径(柱:基礎径×概況)	基礎長		
		m × m	m		
	頭部処理	施工方法	先端処理		
	底版の根入深さ	突出長	有効根入長		
地層区分	L1= m	L2= m	L3= m		
	N1=	N2=	N3=		
	L4= m	支持層地盤	L5= m		
	N4=		N5=		
基本データ	鉄筋材質	コンクリート強度	杭材質	腐食代	
		$\sigma_{ck} = \text{kgf/cm}^2$		mm	
	杭頭平均N値	変形係数	バネ定数	(常)KH= tf/m ² KV= tf/m	
		E0= kgf/cm ²		(地)KH= tf/m ² KV= tf/m	
定 義	許容支持力(押込)	許容支持力(引抜)	許容支持力(水平)	変位	
	(常)				
	(地)				

3. 基礎工配置データ

軸 方 向 杭 配 置 デ ー タ	No.	距離(X)	奥行方向の本数
	1	m	本
	2	m	本
	3	m	本
	4	m	本
	5	m	本
	6	m	本
	7	m	本
	8	m	本
	9	m	本
軸 直 角 方 向 杭 配 置 デ ー タ	No.	距離(Y)	奥行方向の本数
	1	m	本
	2	m	本
	3	m	本
	4	m	本
	5	m	本
	6	m	本
	7	m	本
	8	m	本
	9	m	本
	10	m	本



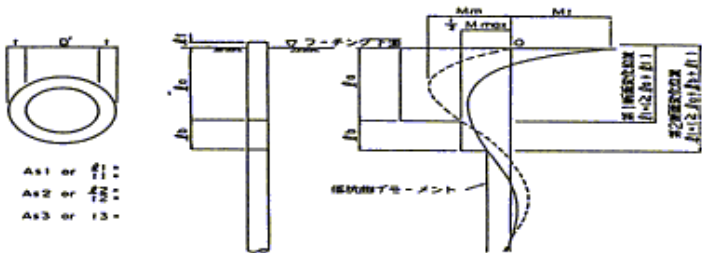
注：適用基準等、欄の記載例
道示 I - 1 ~ 2 (適用基準短縮名-記載頁) で表示する。

基礎工詳細設計調書（その2）（ / ）

軸方向

計 算 ケ ー ス 名				単位	常 時		地震時		備 考	
安定 計算 及び 杭の 計算 結果	杭頭外力	偏心量		c	m				設計計算書 P 設計図番号 ／	
		全鉛直力		$\sum V$	t					
		全水平力		$\sum H$						
		偏心モーメント		$\sum M$	tm					
	反力変位発生力	杭頭変位量	水平変位 δ_x		mm				設計計算書 P 設計図番号 ／	
			鉛直変位 δ_y		mm					
		水 平 力	1本あたり		t					
			杭 反 力	前例 P Nmax		t／本				
	後例 P Nmin			t／本						
	最 大 曲 げ モーメント	杭頭部 Mt		tm					設計計算書P 設計図番号 ／	
		地中部 Mm		tm						
	杭体応力	鉄 筋 又 は 厚 板	Nmax	σC	kgf/cm ²				設計計算書 P 設計図番号 ／	
				σS	kgf/cm ²					
			Nmin	σC	kgf/cm ²					
σS				kgf/cm ²						
許 容 支 持 力	鉛直支持力		tf/本					設計計算書P 設計図番号 ／		
			引 抜 力		tf/本					
	圧縮応力度		kgf/cm ²					設計計算書P 設計図番号 ／		
			引張応力度		kgf/cm ²					
杭頭部 計算 結果	垂直支圧応力度	発生値		kgf/cm ²				設計計算書P 設計図番号 ／		
		許容値		kgf/cm ²						
	押 抜 き せん断応力度	発生値		kgf/cm ²				設計計算書P 設計図番号 ／		
		許容値		kgf/cm ²						
	引 抜 き せん断応力度	発生値		kgf/cm ²				設計計算書P 設計図番号 ／		
		許容値		kgf/cm ²						
	水平支圧応力度	発生値		kgf/cm ²				設計計算書P 設計図番号 ／		
		許容値		kgf/cm ²						
	水平方向押抜き せん断応力度	発生値		kgf/cm ²				設計計算書P 設計図番号 ／		
		許容値		kgf/cm ²						

計算ケース名		単位	常 時		地震時		備 考
仮 想 R・O 断 面	使用鉄筋量	cm ²					設計計算書 P 設計図番号 /
		圧縮応力度	kgf/cm ²				
		引張応力度	kgf/cm ²				
	せん断応力度	kgf/cm ²					設計計算書 P 設計図番号 /
		圧縮応力度	kgf/cm ²				
		引張応力度	kgf/cm ²				
ケーソン基礎	水平方向	使用鉄筋量	cm ²				設計計算書 P 設計図番号 /
		圧縮応力度	kgf/cm ²				
		引張応力度	kgf/cm ²				
	せん断応力度	kgf/cm ²					設計計算書 P 設計図番号 /
		圧縮応力度	kgf/cm ²				
		引張応力度	kgf/cm ²				
	縦方向	使用鉄筋量	cm ²				設計計算書 P 設計図番号 /
		圧縮応力度	kgf/cm ²				
		引張応力度	kgf/cm ²				
	せん断応力度	kgf/cm ²					設計計算書 P 設計図番号 /
		圧縮応力度	kgf/cm ²				
		引張応力度	kgf/cm ²				



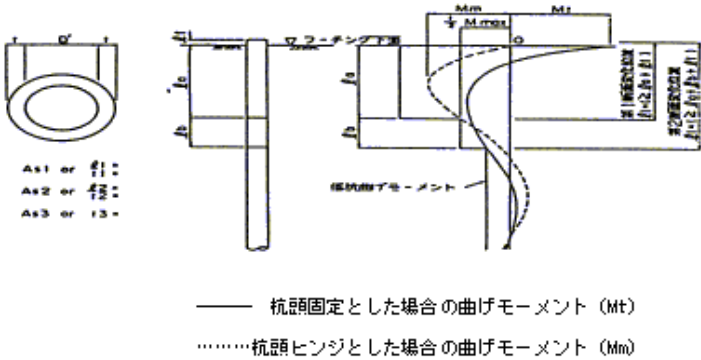
—— 杭頭固定とした場合の曲げモーメント (Mt)
·····杭頭ヒンジとした場合の曲げモーメント (Mm)

基礎工詳細設計調書（その3）（ / ）

軸直角方向

計 算 ケ ー ス 名				単 位	常 時		地震時		備 考
安定計算及び杭の計算結果	杭頭外力	偏心量	e	m					設計計算書 P
		全鉛直力	$\sum V$	t					設計図番号 /
		全水平力	$\sum H$						
		偏心モーメント	$\sum M$	tm					
	反力変位発生力	杭頭変位量	水平変位 δ_x 鉛直変位 δ_y	mm mm					設計計算書 P
		水 平 力	1本あたり	t					設計図番号 /
		杭 反 力	前側 P Nmax	t / 本					
			後側 P Nmin	t / 本					
		最 大 曲 げ モーメント	杭頭部 Mt 地中部 Mm	tm tm					設計計算書 P
	杭体応力	鉄 筋 又 は 板 厚	Nmax	σC	kgf/cm ²				設計計算書 P
				σS	kgf/cm ²				設計図番号 /
			Nmin	σC	kgf/cm ²				
				σS	kgf/cm ²				
	許 容 支 持 力		鉛直支持力	tf/本					設計計算書 P
			引 抜 力	tf/本					設計図番号 /
	許 容 応 力 度		圧縮応力度	kgf/cm ²					設計計算書 P
			引張応力度	kgf/cm ²					設計図番号 /
杭頭部計算結果	垂直支圧応力度	発生値	kgf/cm ²						設計計算書 P
		許容値	kgf/cm ²						設計図番号 /
	押 抜 き せん断応力度	発生値	kgf/cm ²						設計計算書 P
		許容値	kgf/cm ²						設計図番号 /
	引 抜 き せん断応力度	発生値	kgf/cm ²						設計計算書 P
		許容値	kgf/cm ²						設計図番号 /
杭頭部計算結果	水平支圧応力度	発生値	kgf/cm ²						設計計算書 P
		許容値	kgf/cm ²						設計図番号 /
杭頭部計算結果	水平方向押抜き せん断応力度	発生値	kgf/cm ²						設計計算書 P
		許容値	kgf/cm ²						設計図番号 /

計 算 ケ ー ス 名		単 位	常 時	地震時	備 考
仮想RC断面	発生値	使用鉄筋量	cm ²		設計計算書 P
		圧縮応力度	kgf/cm ²		設計図番号 /
		引張応力度	kgf/cm ²		
	許容値	せん断応力度	kgf/cm ²		設計計算書 P
		圧縮応力度	kgf/cm ²		設計図番号 /
		引張応力度	kgf/cm ²		
ケーソン基礎	水平方向	使用鉄筋量	cm ²		設計計算書 P
		圧縮応力度	kgf/cm ²		設計図番号 /
		引張応力度	kgf/cm ²		
		せん断応力度	kgf/cm ²		
	縦方向	使用鉄筋量	cm ²		設計計算書 P
		圧縮応力度	kgf/cm ²		設計図番号 /
		引張応力度	kgf/cm ²		
		せん断応力度	kgf/cm ²		
	許容値	圧縮応力度	kgf/cm ²		設計計算書 P
		引張応力度	kgf/cm ²		設計図番号 /
		せん断応力度	kgf/cm ²		



$(\quad / \quad)$

交差点名	通称・番号・記号等					
交差点部 設計計画	交差点制御方法（信号制御　・　一時停止）					
	主 従の別	設計車両 （○印）	交差点付近 の設計速度	交差点付近横断 勾配・区間距離	曲線半径 （m）	交差角度
	主	小 型 車 普 通 車	-----	-----	-----	—
	従	セミトレ	-----	-----	-----	度
	右左折車通行方法			導流路曲線半径（m）		導流路幅員（m）
主	方面から	右折		外側	内側	
		左折		外側	内側	
	方面から	右折		外側	内側	
		左折		外側	内側	
従	方面から	右折		外側	内側	
		左折		外側	内側	
	方面から	右折		外側	内側	
		左折		外側	内側	
交通量	主			従		
・現　況 ・予　測 ・車種別 ・方向別 ・歩行者 ・特異交 通流等						
付加車線 設置計画	主			従		
	計画　有・無　（○印）			計画　有・無　（○印）		
	右折　・　左折車線　（○印）			右折　・　左折車線　（○印）		
	付加車線（　折）の必要性			付加車線（　折）の必要性		
	（　有　・　無　）			（　有　・　無　）		
	滞留長			滞留長		
	m			m		
テーパー長（減速車線長）			テーパー長（減速車線長）			
m			m			
付加車線幅員			付加車線幅員			
m			m			
本線シフト区間長			本線シフト区間長			
m			m			

 $(\quad / \quad)$ [illegible]